



## &lt;展覧会 開催のお知らせ&gt;

昨年 12 月、東京 日本橋にオープンいたしました「UNPEL GALLERY（アンペルギャラリー）」では、運営母体である「あいおいニッセイ同和損保」のメセナ活動の一環として本年 2 月から 5 月までの間、全国の大学、美術大学で日本画を学ぶ学生の展覧会を開催いたします。

この活動は、さらなる「文化芸術振興」を目指し、若手の日本画家を対象とした発表の場の提供、また地方大学の卒業作品展示や各地域と連動した企画の実施により「地方創生」を推進するギャラリー開設の主旨によるものです。

今回はその第三弾として、3 月 21 日（日）から「土井沙織×土田翔 東北芸術工科大学 卒業生二人展」を開催いたします。

## ■タイトル/ 春立つ-大学日本画展@UNPEL III

「絶対」~zet-tai~ 土井沙織×土田翔 東北芸術工科大学 卒業生二人展

## ■会 期 / 2021 年 3 月 21 日(日) ~ 4 月 4 日(日) 11:00 ~ 19:00 (月曜定休) 【入場無料】

\* 新型コロナ感染拡大の状況により、開廊日や営業時間を変更する可能性があります

ご来廊の前には必ずギャラリーの HP/ <https://unpel.gallery> 及び Twitter/ [https://twitter.com/unpel\\_gallery/](https://twitter.com/unpel_gallery/) をご確認ください

## ■会 場 / UNPEL GALLERY（アンペル ギャラリー）

東京都中央区日本橋 3-1-6 あいおいニッセイ同和損保八重洲ビル 1F

## ■参加作家名/土井 沙織（どい さおり） 土田 翔（つちだ しょう）

## ■主 催 / 東北芸術工科大学

## ■協 賛 / あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

## ■展覧会タイトル主旨 /

「絶対」にそこに存在するもの、「絶対」はあるのか。

従来良しとされてきたあらゆることは覆り、これまでの世界への希望が絶たれる昨今、私たちは絵画を通して現実を認識していく。

「絶対」はあるのかもしれない、ないのかもしれない。

しかし、それでも私たちは「絶対」を信じる。

## ■見どころ/

各々の人生観を主軸に、旧字体の「絶」をテーマに表現する作品群。あらゆる目に見える希望が絶たれる昨今、私たちは絵画による表現を通して現実を認識していく。対面形式で壁面を埋めるほどの二名の迫力ある大作が見どころです。

## &lt;ご連絡・お問い合わせ先&gt; }

■ギャラリーオフィス 11:00~19:00 (担当 / 中島・内城)

E-mail/[tsubaki@un-pel.com](mailto:tsubaki@un-pel.com) <https://unpel.gallery>

TEL/ 03-3548-7780 FAX / 03-3548-7781

\* お問い合わせは E-mail にてお願いします

## ●作家 プロフィール

### 土井沙織（どいさおり）



愛知県出身

2010 東北芸術工科大学大学院修了、作品大学買い上げ

2014 第2回美術新人賞デビュー展 準グランプリ

2017 VOCA展 2017 出品

2020 第5回星乃珈琲店絵画コンテスト 佳作受賞

FACE展 2021 損保ジャパン日本興亜美術賞展 読売新聞社賞受賞

他 個展多数

祈り、諦観、悔恨、諦めきれない希望を託した、自身における神のごとき存在への手掛かりを得るために制作している。

古代遺跡や壁画、宗教画、古典を足掛かりに平面作品や立体、インスタレーション、壁画制作を行っている。



「バイバイ フリードリヒ」 160×146.1 cm パネルに寒冷紗、石膏、ペンキ、アクリル 2020年

### 土田翔（つちだしょう）



福島県出身

東北芸術工科大学大学院在籍

クマ財団第4期生

公益財団法人佐藤国際文化育英財団第30期奨学生

神山財団芸術支援プログラム奨学第7期生

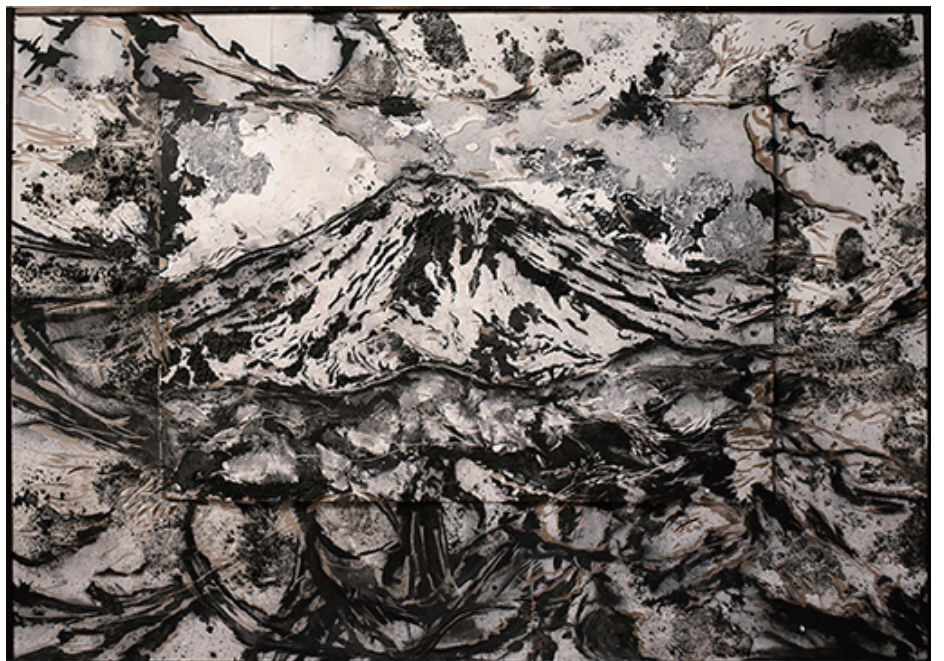
第72回福島県総合美術展覧会福島県美術賞

第40期国際瀧富士美術賞特別賞

アートアワードトーキョー丸の内 2020 小山登美夫賞

現場での取材によって対象の感覚的リアルを得ながら制作に取り組んでいる。

日本画家小松均の研究を下敷きに自らの絵画論を構築し、現在生きて表現をする上で必要となるリアリティを獲得するために、絵画だけでなく複数のメディアや、身体・行為が介在する表現方法に展開している。



「ENCOUNT」150×210 cm 板、木炭、炭酸カルシウム、ミクストメディア 2020年